

HUMANE
INTERNATIONAL
NETWORK
(HINT)

—————HINT News Letter No. 61 目次—————

- Page1-4: 反政府軍の侵攻とコンゴの現状について
Page4-5: HINT創設30周年記念式 サンタさまへの手紙
Page6: HINT創設30周年記念式 オノレ師 説教
Page7: 会費納入者・寄付及び物品寄贈者名簿
Page8: HINT事務局からのお願い
HINT事務局からのお知らせ

HINT 創設30周年記念感謝号

反政府軍の侵攻とコンゴの現状について



HINT 創設30周年記念式(詳細報告 4-6 ページ)

HINT(特活) ヒューメイン・インターナショナル・ネットワークは、1994年に発生したアフリカのルワンダ虐殺時の難民支援のために創設された東京都認証NPO(非営利活動)法人です。国を超えた隣人愛を示されたイエス・キリストの教えにしたがって、開発途上国における教育や保健医療、農村開発などを通じて、国境を超えた支援活動を続けています。息の長い継続が必要な奨学金運営には29年以上の実績があり、キリスト教会やNGO団体との連携を活かしつつ、貧困状態が続く地域で多くの人材と希望を育んでいます。

反政府軍の侵攻と コンゴの現状について

30年にわたり、コンゴ民主共和国（以下、コンゴと略）の奨学生のために、温かいご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

新学期もスタートし、新しい学生たちも未来への希望を胸に秘めて頑張っています。現地コーディネーターからの報告（抜粋）をお届けいたします。

■奨学金事業報告

コーディネーター ムサギ K. タデー

1. 2025年4月の状況

コンゴ東部のブカブ市の状況に関する2025年4月の詳細な報告。

はじめに

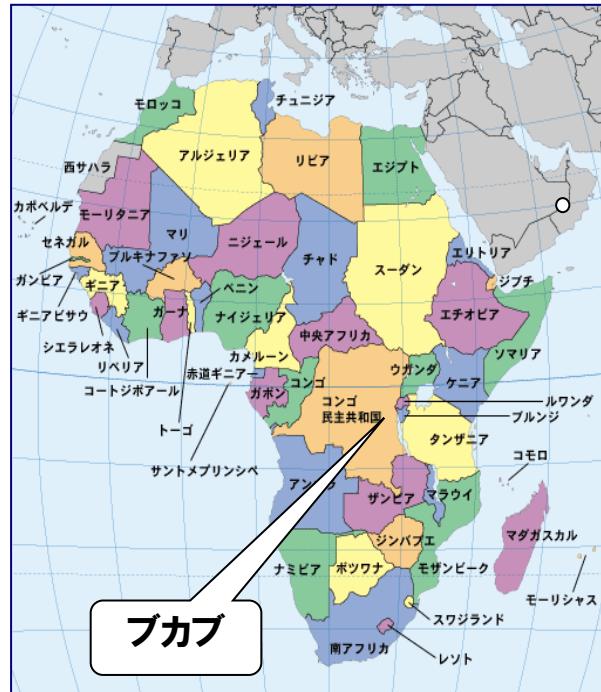
私は南キブ州全体の状況と、特にルワンダ軍とM23の反政府勢力の支配下にあるブカブ市の状況を説明できることを光栄に思います。

念のため、南キブ州は完全に反乱軍（隣国ルワンダ政府の関与が指摘される反政府武装組織「3月23日運動（M23）」）の支配下にあるわけではありません。その行政地域では、カバレ、カルチエ、ワルングだけが占領されています。イジウイフィジ、ムウェンガ、ウビラ、シャブンダなどの他の地域は、反乱軍の差し迫った攻撃の中でまだ占領されずに生き残っています。

南キブ州の州都であるブカブは、2025年2月16日から現在までM23反政府軍によって占領されました。この都市の状況を以下に説明します。

1. 行政管理

ブカブに到着したM23の新しい反政府軍当局が、コンゴの首都であるキンシャサの中央政府のすべての人員を刷新することによって、彼らの支配下にある行政組織を、新たに並行して現地に設立しました。これらは、州の知事と副知事、州の公共サービス、市役所、セキュリティサービス、軍隊と警察、移民サービス、軍隊の基地などです。



コンゴ民主共和国



2. 教育

反政府軍に占領され、多くの学校当局と教師は、自分の経済力に応じて近隣諸国やその他の場所へ安全を求めて逃げたことを考えると、教育関係者もこの変化を免れませんでした。同じことが、あらゆる面ですべての家族と避難を余儀なくされた多くの親にも当てはまります。これらが、HINT 奨学金プログラムに登録した一部の子どもたちにとって、これまでに起きた状況です。

2月26日にブカブで奨学金プログラムの調整会議が開催され、27日には、現地政府によりすべての活動の継続を人々に伝えて安心させるために、以下のことが決定されました。

- ブカブ市のすべての学校の再開
- すべての銀行とマイクロファイナンスの再開
- ブカブと他の近隣諸国を結ぶすべての国境の再開

ただし、学校再開に関して多くの親は、M23反政府軍が、学校に来た子どもや学生を強制的に軍隊に入隊させる可能性があるため、子どもを学校に行かせることには消極的でした。

しかし結局、小康状態が保たれ、M23の当局との市民社会間の卓越した交渉の後で、両親は子どもたちを学校に行かせることに同意しました。これらの交渉から、私立学校と公立学校のリーダーは、ブカブ市の占領中の略奪での物的損害を考慮して、状況に応じて学校活動を再開することを決定しました。3月20日から学校での教育を再開したところもあります。

アレン博士がまだブカブで家族と一緒にいることを考えると、HINT奨学金プログラムの学生を探すのは難しい状況でしたが、幸いに何人かを見つけだしました。4月13日に、彼は何人のHINTの学生と会合を開くことができました。ここに参加した学生の写真（左参照）がありますのでご覧ください。

3. 経済

これまでのところ、すべてのマイクロファイナンス銀行とそのシステムがまだ稼働しているわけではありません。したがって、教師と州の代理人の給料は支払われないので、学費の支払いは保護者の責任です。

戦争の中、ルワンダ軍とそのM23反政府軍によって、多くの企業、NGO、店舗の物品などが組織的に略奪されました。市場では、コンゴとルワンダの国境を越えて物品の出入りができないため、すべての基本的な必需品は入手できいか、非常に高価です。



Dr Allen with the sample of students after the meeting held on Sunday, April 13th, 2025



アレン医師と学生たち

4. 治安

ブカブ市とゴマ市での治安は不安が増しています。毎日、私たちは命のない遺体を集めています。すべての若者は、男女を問わず毎日戸別訪問され、反政府軍に従って軍隊や警察に入るよう指示を拒否すると、（内部で殺人も行われる）刑務所に入れられるのです。

5. 移住への動き

ブルンジとルワンダのすべての国境がセキュリティ上の理由から閉鎖されているため、すべての住民の移動が減少しています。ブルンジを離れてコンゴに行くためには、ルワンダを経由しなければなりませんが、それはもはや不可能です。そして、ブカブの内陸部を結ぶ道路でさえ、一方では武装グループの存在と他方ではM23の存在があるために、困難を極めています。今ブカブに行く唯一の方法は、交通渋滞を起こしてい

る、ブジンブラに行くことです。

タンザニア-キガリ、そして最終的にルート1またはルートIIの国境を通ってブカブに到着します。これには、パスポート、イエローカード(ワクチン接種証明書)、または通行パスの所持が必要です。これらの旅行の総費用は500ドル(チケット、食事、書類、ホテルなど)です。

ウビラはブルンジとの国境都市であり、キンシャサの中央政府の管理下にあるため、ブカブへの交通にアクセスできません。これはブカブへの最短かつ最も安価なルートですが、残念ながら非常に危険な区間です。

6. 社会的な支援

ICRC(国際赤十字・赤新月社)、MSF(国境なき医師団)、WFP(国連世界食糧計画)、CARITAS(カトリック教会福祉機関)、UNICEF(ユニセフ)など、国際的な性格を持つ大規模な非政府組織のみが現場で活動しています。

7. ブルンジとブカブの関係

奨学金活動の調整においてコーディネーターのタデー氏は、ブルンジに避難し、まだブジンブラにいます。現時点では距離と壊滅的な状況がありますが、タデー氏は現地に残っているアレン・ムサギ・イドンボ博士と常に連絡を取り合っています。タデー氏は、平和が戻り、効果的な帰還を待つ間、それらを調整し、ブジンブラ経由で東京のHINT理事会に送らざるを得ない状況です。

なお、タデー氏は4月10日から21日までマラリアにかかりましたが、彼の健康状態は今は良くなっています。コンゴ東部でまだ終わっていないこの戦争状況にもかかわらず、氏の存在は非常に重要です。ブジンブラのタデー氏とブカブのアレン氏への支援をどうぞよろしくお願いいたします。

私たちの学生と私たちの家族から、心からの挨拶を送ります。みなさん、よいイースターをお迎えください。ハッピーイースター！

HINT創設30周年記念式

2024年12月21日14時から東京・四谷のカトリック麹町教会(主任司祭・高祖敏明師)で、HINT創設30周年記念式と記念ミサが、多くの参加者をお迎えして執り行われました。30年間の長きにわたり、お支えいただいた皆さんに深く感謝申し上げます。司式をしていただいたコンゴ出身のカブンディ・オノレ師(カトリック淳心会司祭)から紹介された、コンゴのストリートチルドレンによる「サンタクロースさまへの手紙」と、記念ミサでの説教を掲載させていただきます。



■ HINT創設30周年記念式 お祝いの言葉

カブンディ・オノレ

このゴミ箱に投函された手紙は、信じられないかもしれません、コンゴのストリートチルドレンによる本当の手紙です。かつて、私がボランティア活動をしていた施設で、子どもからサンタクロースに宛てたメッセージを偶然見つけたのです。ここで、皆さんにご紹介いたします。

「サンタクロースさまへの手紙」

「サンタクロースさま、今年も、あなたあてに手紙を書いて、ゴミ箱に入れました。あなたが恵まれている子どもたちに、プレゼントを渡した後、私たちのことも思い出してくれるようになると。私たちは、ストリートチルドレンと言われています。でも、私たちも、他のこどもたちと同じようにこの世に生まれてきたのです。でも、親が亡くなり、家から追い出されてしまいました。親も

家もない子どもは一人ではありません。

私たちのように路上で暮らしている子どもは、数えきれないほど大勢います。昼も夜も暑いときも寒い時も雨の日も風の日も安心していられる場所がなく、いつもあちらこちらをウロウロとしています。毎日、ゴミの中を覗いて食べ物を探しています。何も見つからない時もありますが、そういう時でも、ほとんどの子どもは泣くこともしません。泣く力も残っていないからです。

サンタクロースさま、あなたは、どこにいらっしゃるのでしょう。どうすればあなたに手紙を送ることができるのでしょう。どうすればよいのか分からぬので、私が食べ物を探す場所、ゴミ箱にあなたへの手紙を入れておきました。毎年、あなたから返事がないのはとても残念ですが、がっかりはしていません。今年も私たちの悩みをお知らせします。

私は、カピングと申します。父は、ろくろく食事もせずに、お酒ばかりを飲んでいたので、死んでしまいました。きっと父は、仕事のストレスと家族の貧しさを忘れて、お酒をたくさん飲んだのでしょうか。父の給料はとても少なく、十分な食料を買えませんでした。父が死んだあと、母も亡くなりました。母は病気でしたが、お金がなくて医者にかかりませんでした。

貧しい人たちが、命をつないでいくことはとても大変です。私も生まれてら一度も病院に行ったことはありません。父も母も亡くなってしまって、哀しく、そして私の人生を生きることになりました。私は先ず、従兄弟の家で暮らすことになりました。従兄弟は市場で商売をしています。けれども最近は経済状況が悪くなり、彼の商売もうまくいかなくなってしまいました。従兄弟は、世の中の経済のことなど全く考えずに、占い師のところに行ってしまいました。占い師は従兄弟の将来が上手くいかなくなってしまったのは、私のせいだと言いました。そして、占い師はこう告げました。私が悪魔の力を借りて両親を殺し、私の従兄弟と暮らすことで、従兄弟の成功の邪魔になると。従兄弟は、占い師の言ふことを、受け入れて、私にいろいろな酷い罰を与えま

した。2日間、飲み物も食べ物も与えられなかつたり、裸でトイレに立たせたり、私の口に熱いナイフを入れたり、お尻に熱いアイロンを当てたりしました。こんな酷い罰を受ける私は、人間のような気がしませんでした。

私はまだ8歳でしたので、抵抗することもできず、外へ逃げ出しました。従兄弟は私を追い出したがっていましたので、もう彼の家に戻ることはできません。ですから、今、私はホームレスの子どもになってしまいました。路上生活はとても辛いです。生きるためにゴミをあさって、食べ物を探します。でも、この生活で一番怖いことは、暴行を受けることです。不思議な偶然ですが私は独りぼっちではありません。仲間のミセンカちゃんも、同じ経験をしています。彼女のお父さんは仕事がなく、4人の子どもが一週間の間に、次から次へと死んでいきました。食べ物がなくて餓死したのです。最後の子どもが息を引き取る前にこう叫んだそうです。「助けて、食べ物をください」。でも、助けてくれる人は、あの時いませんでした。そして、兄弟姉妹が死んだのは食料不足で死んだのではなく、ミセンカが悪魔に取りつかれて、4人の兄弟を殺したからだと、家から追い出されてしまったのです。似たような仲間が多いです。

サンタクロースさま。私たちは、今年はチョコレートやおもちゃに飢えているのではありません。生きていくためには、豆のスープをお願いしたいです。少なくとも一つの命が助かります。クリスマスにはゴミの中に食べ物が増えますように。私たちにもクリスマスの喜びを味わわせてください。

サンタクロースさま。昨年は何かの手違いがあったようです。というのも、アフリカの子どもへの箱の中にはプレゼントの代わりに兵器が入っていました。そのために、戦争がまだ続いています。サンタクロースさま。どうか、こんなプレゼントはもう贈らないでください。それからお願ひがあります。全世界の兵器産業がなくなるようにお助け下さい。」

HINT創設30周年記念ミサ オノレ師 説教

待降節も第4週目を迎え、いよいよクリスマスです。HINT創設30周年記念会、おめでとうございます。皆様は30年間の歩みを通して、世界に困っている人々に手を差し伸べてくれました。皆さんは、国を超えて、海を超えて、人種や宗教と文化の違いを超えて、キリストの愛の教えに従い支援活動を続けて来られました。困っている人々に代わって、一言を言わせていただけるならばありがとうございます、と言うしかありません。

間違いなく、苦しい状況に置かれている人たち、戦争や経済的な圧力で厳しい状況にいる人たち、貧困や差別で苦しんでいる人たちにとって、皆さんは希望のよりどころとなっています。皆さんは、貧困状態が続く地域で多く人材と希望を育んできました。教皇様の言葉を借りて言うならば、助けを最も必要とする人々に皆さんは少しでも希望のしるしとなっているのです。本当に、ありがとうございます。

皆さんがなさっていることは、キリスト教が初代から続けてやっていることです。それは、信者たちに、困っている人々に目を開かせ、助けを必要とする隣人に目を向けさせるということです。

〔主は言われる。〕エフラタのベツレヘムよお前はユダの氏族の中でいと小さき者。お前の中から、わたしのためにイスラエルを治める者が出る。彼の出生は古く、永遠の昔にさかのぼる。

(ミカの預言5・1)

今日の第一朗読で語られているように、イエス様がこの世に来たのは、いと小さき者の存在を気付かせるためでした。「ベツレヘムよ、お前はユダの氏族の中でいと小さき者。お前のなかから、わたしのためにイスラエルを治める者が出る」と神は預言者ミカを通して約束しました。救い主の誕生は、見捨てられたような小さな町に、へりくだつて神のみ心を信じる小さい人々をおして実現するというのです。忘れ去られたベツレヘム、見捨てられたようなこの町に神が目を留められました。

現代において、いと小さき者とは何を指しているでしょうか。わたしは、世界中に差別や「侮辱を受けている人々、社会から排除された人々」のことを指していると思います。地域を指すならば、疑いもなく、それは忘れ去られたアフリカのことではないかと思います。アフリカは貧困と不安定という点で最大の課題に直面している大陸です。不思議なのは、アフリカ大陸には天然資源で豊かです。しかし、これらの資源の多くはアフリカの人々のために利用されておらず、先進国で必要としているアフリカの天然資源を盗むために使われ、その結果、アフリカにもたらされたのは紛争や戦争です。

アフリカでは内戦や紛争が後を絶ちません。その原因は歴史的なものや、内的あるいは外的なもの、経済的要因などさまざまですが、その一因にはアフリカにある豊富な資源です。

アフリカの資源は世界中が必要としており、それが手に入れるのに人々を戦わせ、分裂の混乱を起こすのは簡単な方法となっていました。でも、この大陸には天然資源だけでなく、動物だけでなく、人間も住んでいます。彼らは、平和を求めています。彼らも自分たちの国のインフラを改善したいのです。彼らの子どもたちも幸せに過ごしたいのです。

クリスマスが来る時に、イエス様は「平和な君」と呼ばれ、今日の第一朗読の最期文書として「彼こそ、まさしく平和である」と言われています。アフリカの人々が何よりも平和の実現を期待しているのです。

〔皆さん、〕キリストは世に来られたときに、次のように言われました。「あなたは、いけにえや献げ物を望まず、むしろ、わたしのために体を備えてくださいました。あなたは、焼き尽くす獻げ物や罪を贖うためのいけにえを好まれませんでした。そこで、わたしは言いました。『御覧ください。わたしは来ました。聖書の巻物にわたしについて書いてあるとおり、神よ、御心を行ふために。』」 (ヘブライ人への手紙 10・5-7)

第二朗読ではこの言葉が心に響きました。ヘ

ブライ人の著者は、キリストに次のような言葉を言わせます。「ご覧ください。わたしは来ました。神よ、御心を行うために。」これはまさしく、世に来られたというときの意味です。問題は、神の御心を行うためにということの意味です。神の御心とは何でしょうか。神の御心とは、神の望み、神の救いの計画を指しています。昨年、オリエンス宗教研究所で私が出版した本の内容は、この神の救いの計画です。「境界を超える神の救いの計画」というタイトルです。神の御心、ご計画とは、愛をすべての人に注ぎ、その救いの御手を全人類に及ぶということです。キリストが行なったのは、人類を一つに結び同じ神に向かわせるということです。人類が一つの源である神から生まれたことを皆に宣べ伝えました。肌の色が違っていても、文化と言語が違ったとしても、住む地域が違うとしても、皆が兄弟姉妹なのです。神は、人を分け隔てなさらないのです。

エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。わたしの主のお母さまがわたしのところに来てくださるとは、どういうわけでしょう。あなたの挨拶のお声をわたしが耳にしたとき、胎内の子は喜んでおどりました。主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしょう。」

(ルカによる福音1・41-45)

キリストが皆に喜びをもたらすために、神と和解させるために地上に来られたのです。最初、キリストの到来の喜びを味わったのは、きょうの福音書に出てきた、エリサベトと彼女の胎内にいた洗礼者ヨハネです。聖母マリアの訪問を受けたエリサベトは、神の訪れの時を悟りました。これは、妊娠した経験の女性しか理解できないことかもしれません。喜びのあまり、胎内の子どもがおどりました。「あなたの挨拶のお声を耳にしたとき、胎内の子は喜んで踊りました。」聖母の訪問を通して、イエス様が人類を代表とする洗礼者ヨハネに喜びをもたらしました。これは、クリスマスです。これこそ私たちがこの季節

を通して為すべきことです。聖母マリアはイエス様を他の人々に連れて行かれたように、他の人々に喜びを与えたように、私たちも世界中に困っている人々に喜びと希望と愛をもたらすことができますよう心がけましょう。

会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿

(2024.11.1-2025.4.30・順不同・敬称略)

森川 浩一郎	市川 幸一
野坂 俊弥	神山 和美
カトリック松原教会	西嶋 久恵
石原 達哉	米村 富士子
石間 裕	山田 篤
井上 静子	藤井 由雄
比嘉 勇也	武田 知子
藤枝 伊都子	中山 善四郎
四條 淳也	末永 秀雄・美津代
大野 容子	武井 弥生
篠塚 彰・久美子	小幡 行弘・朋子
末永 恵子	岸田 万紀子
国分 一也	安達 裕美
春日井 明	進藤 重光
酒井 匠	高澤 佳代乃
古城 かほる	桃井 和馬
安藤 和彦	匿名の皆様

ご支援・ご協力ありがとうございました。

★左記期間内に会費納入やご寄付をされている方で、名簿に載っていない方は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

★HINTは皆さまの会費で運営されています。年会費5,000円で、ベトナムでは約500人分の給食を提供できます。コンゴで中高生約2人分の1年間の学費です。

★封筒ラベルの一番下にある日付が、最後にお振り込みをいただいた直近のお振り込み日となります。

★郵便局の振込金受領書は、正式な領収書ですので、大切に保管してください。

★振替用紙は郵便局から事務局にコピーが届きますが、判読しづらい場合があります。楷書で分かりやすくご記入いただきますとたいへん助かります。

★特別なご支援（特定寄付）の場合は、その旨をお知らせいただけると幸いです。

HINT 事務局からのお願い

会費振込のお願い

皆さまの会費やご寄付が命綱です。お振り込みは同封の振込用紙を使用していただかず、下記口座へお振込みくださいますようお願いいたします（賛助会員：1口 5,000円から・学生会員：1口 2,000円から。ご寄付の場合はご随意にお願いいたします）。

■郵便振替：00120-1-596327

口座名義：特定非営利活動法人 HINT

■ゆうちょ銀行：

記号 10010 番号 26990711

（他銀行から振り込む場合 店名：008

種目：普通 番号：26990711）

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

■三井住友銀行：新宿支店

普通預金：3390001

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

● 2025年度の役員・ボランティアを募集します

2025年度の HINT 役員とボランティアを募集しています。非営利活動を支えるのは、皆さまからの大切な会費収入と同時に、日々の小さな事務作業の積み重ねです。役員は総会で選任され、定期的な理事会に出席し、HINT の実務的な業務をしていただきます。

印刷作業や荷物運び、翻訳などのテンポラリーなボランティアの仕事もあります。登録ボランティアとして、メールアドレスをご登

録いただき、ご都合のつく時に、実務的な作業に隨時ご協力いただければ幸いです。皆さまの積極的なお申し出をお待ちしています。

ご連絡・お問い合わせ先：HINT 事務局

E-mail: hint_info@epopee.co.jp

HINT 事務局からのお知らせ

《HINT総会のお知らせ》

日時：2025年6月29日（日）14:00～15:00

場所：カトリック松原教会2階ホール

住所：東京都世田谷区北沢1-45-12

TEL: 03-6794-3467（下記案内図参照）

アクセス：京王線「明大前駅」下車徒歩5分

2025年度のHINTの総会を開催いたします。

議題：2024年度活動報告、2024年度決算、2025年度役員改選、2025年度活動計画、2025年度予算計画等。

どなたでもご参加いただけます。ほとんど報道されることのないアフリカで何が起きているのか、世界の現実がどのようなものであるのかなど、HINTの活動について、ご関心のある方は是非おいでください。事前のご連絡は不要です。

総会後に、楽しいリアル懇親会（参加自由）を予定しております。



特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク（HINT）事務局

〒164-0002 東京都中野区上高田5-43-1 グリーンビル2F 平兵衛2内

電話&FAX: 03-6336-9624

e-mail: hint_info@epopee.co.jp

ホームページ: <http://www.epopee.co.jp/hint>